

受 番	験 号		氏 名	
--------	--------	--	--------	--

入 学 試 験

(第 1 期)

学力検査

(平成 3 0 年度入学者選抜)

2017.10

学校法人 八紘学園

北海道農業専門学校

別紙の新聞記事を読み下記の質問に答えなさい。

【問1】 文中に出てくる次の言葉の漢字を書きなさい。(2点)

- ① しょうとつ 衝突 ② いじょうじたい 異常事態
③ ほかく 捕獲 ④ かいきん 解禁
⑤ ほうき 放棄 ⑥ しゅくしょう 縮小
⑦ あいたい 相対 ⑧ きかい 機会
⑨ ようにん 容認 ⑩ りんりてき 倫理的

【問2】 文中に出てくる次の漢字の読みを書きなさい。(2点)

- ア) 農耕 のうこう イ) 野生動物保護 やせいどうぶつほご
ウ) 自然領域 しぜんりょういき エ) 労働生産性 ろうどうせいさんせい
オ) 必須事項 ひつすじこう カ) 中山間地域 ちゅうさんかんちいき

【問3】 文中に出てくる次の漢字の反対の意味の言葉を漢字で書きなさい。(2点)

- a) 減少 増加、増大 b) 拡大 縮小
c) 未来 過去 d) 向上 低下

【問4】 文中の「A～D」の部分に関して、それぞれの設問に答えなさい。(各5点)

- 1) Aに「わが国の長い歴史の中で、野生動物の生息数が減少したのは、明治から昭和にかけてのわずか100年程度の間といわれる。」とある理由2つを答えなさい。

(各5点)

- ① 戦時下での毛皮などを目的とした大規模な捕獲
② (その後の)宅地・農地開発による生息地の減少(など)

(次ページに続く)

- 2) Bに「農地の被害対策のうち、最も重要な対策は農地への柵の設置である」とありますが、柵はどのように設置すると効果が期待されるとありますか、文中で説明している部分2ヶ所を抜き出さなさい。(各10点)

- ① 複数の農家が協力し、地域の農地全体を囲むように設置する(と、野生動物に地域を

横断されずに済む。) _____

② (また、場合によっては、農地ではなく、) 野生動物の重要な通り道となるような
場所に柵を設置し、コリドー(通路)を分断する(ことも効果的であろう)。

3) Cに「しかし、実際には、廃材などによる簡易柵は何度もイノシシに破壊され、農家は毎日のように策を見回り、何度も補修を繰り返してきた。」と有ります。

①農家の負担は、どんな資材に変えると被害が軽減される、と書かれていますか。

(補助金を用いた)強固な柵

②「強固な柵を設置することによって農家はどうか、その部分を抜き出さない。

(農家はその)労働力を農業そのものに注力できる

4) Dに、「土地改良事業においても 02 年度から「環境との調和への配慮」が必須事項となった。」とありますが、

①どのようなことについて配慮すると書かれていますか。

②また、その具体的な例としてどのようなことが書かれていますか。(各10点)

① 生態系および景観を損なわないことへの配慮をすること。

② 山林の境界となる農地ののり面は、コンクリート吹き付け工を施して野生動物の
潜伏や往来を阻害するなど。

(または)

② 「近自然工法」ならぬ「対(反)自然工法」を適用するべき。

(次ページに続く)

以下の文は、前問の新聞記事に関連した平成28年度農林白書の鳥獣害被害対応に関する部分です。解説文を読んで、次ページの設問に答えなさい。

シカやイノシシ、サル等の野生鳥獣による農業被害や自然生態系等への影響は深刻な状況にあり、野生鳥獣の生息地となる山林と農地が隣接する中山間地域を中心に、大きな問題となっています。

以下では、鳥獣被害の現状や鳥獣被害対策の取組、捕獲した鳥獣の利活用について記述します。

(平成27年度の農作物被害額は176億円)

全国の野生鳥獣による農作物被害額は、平成26(2014)年度の191億円から平成27(2015)年度の176億円に減少しているものの、依然として高水準で推移しています(図表3-3-1)。被害金額が大きい都道府県は、北海道(46億円)、福岡県(8億円)、長野県(6億円)等となっています。被害額のうち、全体の約7割がシカ、イノシシ、サルによるものです。

このような野生鳥獣による農業被害の深刻化は、被害額として数字に現れる以上に、営農意欲の減退や荒廃農地1の発生につながるなど、農業生産に深刻な影響を与えています。野生鳥獣による農業被害が深刻化している要因としては、近年の少雪傾向等に起因

した鳥獣の生息域の拡大、過疎化・高齢化等に伴う人間活動の低下、野生鳥獣の生息地になる荒廃農地の増加、狩猟者の高齢化に起因する捕獲圧の低下等が複合的に作用しているものと考えられます。

図表3-3-1 野生鳥獣による農作物被害額

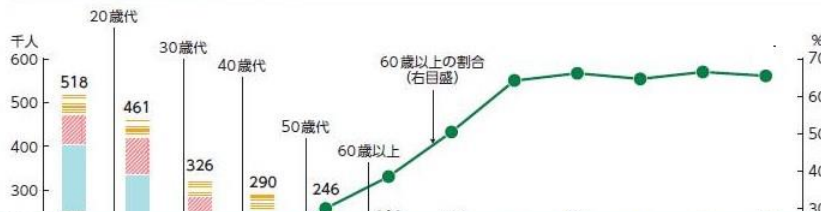


資料：農林水産省調べ

(狩猟免許所持者の60歳以上の割合は〇〇%と高齢化が進行)

狩猟免許所持者の高齢化が進行しており、平成26(2014)年度における免許所持者の60歳以上の割合は〇〇%となっています(図表3-3-2)。狩猟免許所持者数は近年、横ばいとなっており、このうち女性の免許所持者数は増加傾向(図表3-3-3)。また、新規間1万人強で推移し新規銃猟免許取得者にあります(図表3-3-3)。また、新規

図表3-3-2 年代別狩猟免許所持者数



図表3-3-3 狩猟免許所持者数等



資料：環境省調べ

(鳥獣被害対策実施隊は1,093市町村で設置)

農林水産省は、鳥獣被害防止特別措置法に基づき設置される、鳥獣被害対策実施隊（以下「実施隊」という。）が行う捕獲や追払い等の地域ぐるみの被害防止活動、侵入防止柵等の整備、指導者の育成、シビエの需要拡大に向けた普及啓発活動の取組を推進しています。

同法に基づいて被害防止計画を策定した市町村は平成28（2016）年10月末時点で1,444となっており、実施隊を設置している市町村も1,093まで増加しています。

野生鳥獣による農業被害を防止するため、引き続き、鳥獣被害対策の担い手である実施隊の設置の促進と体制の強化が重要です（図表3-3-4）。また、近年は、捕獲活動等において、狩猟等に関心のある都市住民に参加してもらう取組を始める市町村も見られるようになりました。

このほか、農業被害防止のための新たな取組を活用した鳥獣の生息状況調査手法やICTを活用した捕獲技術（自動監視・遠隔操作）の開発が進められており、これらの技術を取り入れることで更に効果的・効率的な鳥獣被害対策の実施が期待されています。

組として、ドローン

（次ページに続く）

【問6】 平成27年度における全国の野生鳥獣による農作物被害額は、平成22年度と比較して減少していますが、グラフからその金額は（①）億円で、約（②）%の減少となっていますか。②は、小数点第1位まで計算しなさい。（各10点）

① 63億円（平成22年度 239億円 - 平成27年度 176億円）

② 73.4%（176億円 ÷ 239億円）

【問7】 このような野生鳥獣による農作物への直接的な被害の他に、どのような農業生産に深刻な影響を与えている、とっていますか。（各5点）

① 営農意欲の減退

② 荒廃農地の発生につながる

【問8】 野生鳥獣による農業被害が深刻化している複合的な要因としては、どのようなことがあるとっていますか。文中より抜き出しなさい。（各5点）

① （近年の少雪傾向等に起因した鳥獣の）生息域の拡大（ ）の記入漏れは△3点

図表3-3-4 被害防止計画の作成・鳥獣被害対策実施隊の設置状況

（単位：市町村）

	全市町村数	計画作成市町村数	実施隊設置市町村数
平成20年4月(2008)	1,811	40	0
21年4月(2009)	1,800	724	33
22年3月(2010)	1,750	933	58
23年4月(2011)	1,747	1,128	87
24年4月(2012)	1,742	1,195	418
10月		-	521
25年4月(2013)	1,742	1,331	674
10月		1,369	745
26年4月(2014)	1,741	1,401	864
10月		1,409	939
27年4月(2015)	1,741	1,428	986
10月		1,432	1,012
28年4月(2016)	1,741	1,443	1,073
10月		1,444	1,093

資料：農林水産省調べ

注：1）全市町村数は特別区を含む。

2）計画作成市町村数は、都道府県と協議中のものを含む。

② (過疎化・高齢化等に伴う) 人間活動の低下 () の記入漏れは△3点

③ (野生生物の生息域となる) 荒廃農地の増大 () の記入漏れは△3点

④ (狩猟者の高齢化に起因する) 捕獲圧の低下 () の記入漏れは△3点

【問9】 平成26年度における「狩猟免許所持者の60歳以上の割合は〇〇%」と高齢化が進行していると言っていますが、その値をグラフから読み取りなさい。(10点)

(65) % (65%前後 63~68%の範囲内ならば正解)

【問10】 昭和50年度以降、狩猟免許を所持している人は大きく減少しています。平成26年度は昭和50年度に比較して()%まで減少していますか、小数点第1位まで求めなさい。(10点)

約 (37.5) %

(次ページに続く)

【問10】 女性の狩猟免許所持者は増加傾向にありますが、平成25年度から平成26年度の間(①)倍に増加していますか。また、新規に狩猟免許を取得する人は増加傾向にある、とありますが平成22年度に比べ平成26年度は何倍(②)に増加していますか、それぞれ小数点第1位まで求めなさい。(各10点)

① (1.2) 倍

② (1.3) 倍

【問11】 平成28年8月において、鳥獣被害防止特別措置法に基づいて、被害防止計画を策定した市町村の数は全国の市町村のうち(①)%にあたりますか。また、鳥獣被害防止特別措置法に基づき「鳥獣被害対策実施対(実施隊)」を設置しているのは、全国の市町村のうち(②)%にあたりますか、それぞれ小数点第1位まで求めなさい。(各5点)

① 約 (82.9) %

② 約 (62.8) %

(以上です)

北海道農業専門学校入学試験問題（計算）

試験時間は10分間です。

受験番号

氏名

1.68m = cm

0.2m = mm

4 × 3 =

42 ÷ 7 =

13 - 45 =

2000 × 108% =

1000 ÷ 100 =

0.5 × 2 =

5.3 × 0.1 =

0.3 × 150% =

4 ÷ 0.5 =

3.5 ÷ 0.5 =

13 + 12 × 3 ÷ 6 =

(7 + 6) × 2 =

3 + 2 + 9 =

92 ÷ 2 =

0.3 + 5 + 0.7 =

$\frac{1}{3} \times 9 =$

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} =$

$\frac{1}{5} \times \frac{2}{15} =$

5,000円の2割引きの価格は
 円

$\frac{3}{4} - \frac{1}{2} + \frac{1}{9} =$

2 : 6 = 8 :

92 ÷ 10% =

0.15g = mg

10,000g = kg

12 ÷ 3 × 2 =

450 - 68 =

40m × 20m = m²

(単位も記入すること)

300m = km

25 × $\frac{2}{5} =$

7 × 14 =

$\frac{5 \times 4}{2} \div 5 =$

(9 - 3 + 6) × 2 =

80 ÷ 20 =

4 ÷ 0.2 =

52 × 3 =

$\frac{1}{2} : \frac{35}{7} = 1 :$

3m = cm

4 + 6 + 3 =

0.5 km = m

320g = kg

50m × 30% = m

7x = 56, x =

100 × $\frac{1}{2} =$

1L ÷ 100mL = ml

(8 - 9) + 3 =

4.9 + 0.8 =

97 - = 45

33 × 3 + 1 =

$\frac{1}{7} + \frac{2}{6} =$

$\frac{1}{7} \times \frac{2}{6} =$

$\frac{1}{7} \div \frac{2}{6} =$

42 ÷ 7 =

5 × 0 =

15 × 4 =

4 × 3 × $\frac{1}{2} =$

2 : 1 = 92 :

3 : 4 = 15 :

42 ÷ 3 =

-4x = 24, x =

0.2 × 4 =

1.2 × 3 =

1.2 ÷ 3 =

0.8 × 0.2 =

0.7m = cm

1dL = mL

0.032kg = g

5 × 4 = -4 + 5

$\frac{2}{3} =$

4 × 8 + 3 =

4 + 8 × 3 =

4 ÷ 8 × 3 =

$\frac{2}{3} \times \frac{3}{4} =$

2450 ÷ 2 =

2.9 × 5 =

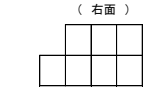
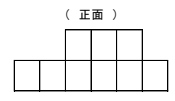
50 × 4 =

2329 - 1432 =

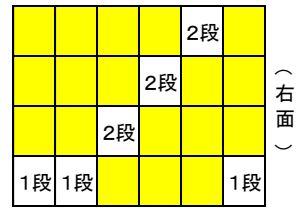
気温25℃の時
水1Lは、 g

下の図のように、正面と右側から見えるように箱を積み上げました。

この形を最も少ない個数で作るには、何箱必要となりますか。



個



(正面)

1段 3カ所 = 3個
2段 3カ所 = 6個
合計 9個